



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社 カナデン
 コード番号 8081 URL <http://www.kanaden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮森 学
 (氏名) 島本 和徳
 配当支払開始予定日

TEL 03-3433-1231
 平成25年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	51,961	10.4	1,216	28.1	1,270	29.5	729	39.9
25年3月期第2四半期	47,065	0.0	950	△19.1	980	△16.8	521	△19.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,312百万円 (347.4%) 25年3月期第2四半期 293百万円 (△19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	21.17	—
25年3月期第2四半期	15.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	68,169	36,913	54.1	1,069.62
25年3月期	71,473	35,897	50.2	1,040.08

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 36,868百万円 25年3月期 35,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
26年3月期	—	8.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	117,000	6.9	3,300	14.0	3,350	13.3	2,000	3.4	58.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	34,907,025 株	25年3月期	34,907,025 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	437,760 株	25年3月期	432,616 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	34,471,726 株	25年3月期2Q	34,477,727 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気対策の効果により円安、株高傾向を維持し米国経済も底堅く推移したことから回復基調を持続しましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響により実態としては不安定な状況で推移しました。

当社グループが関連する業界におきましては、エネルギー、省エネ関連需要は引続き堅調であり製造業の設備投資に一部回復の兆しがみられましたが、低水準に推移しており厳しい事業環境が継続しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画（CI・P-3）の中間年度として、今後も成長が見込まれる環境・エネルギー関連分野に注力し、基幹ビジネスの進化、ニュービジネスの創出に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては51,961百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益につきましては1,270百万円（前年同期比289百万円増）、四半期純利益につきましては729百万円（前年同期比208百万円増）と増収・増益となりました。

セグメント別の営業の概況

（単位：百万円）

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
				増減額
情通・デバイス事業	売上高	12,145	13,110	7.9%
	経常利益	233	430	197
F Aシステム事業	売上高	17,633	17,912	1.6%
	経常利益	484	585	100
ビル設備事業	売上高	6,540	7,487	14.5%
	経常利益	202	177	△25
インフラ事業	売上高	10,746	13,450	25.2%
	経常利益	35	20	△15

①情通・デバイス事業

情報通信分野では、画像映像システムがセキュリティに関する需要が伸び悩み低調となりました。

医療ビジネス分野では、電子医療装置が案件増加により好調でした。

半導体・デバイス分野では、産業用パワーデバイスはアジア、特に中国市場での生産調整を受け前年並みとなりましたが、ハードディスクドライブ向けのIC、メモリーの納入が堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては7.9%の増収となりました。

②F Aシステム事業

F A分野では、主力のコントローラー・駆動制御機器が、液晶・半導体製造装置メーカーや機械装置メーカーの需要が一部に回復傾向が見られました。

産業メカトロニクス分野は、国内の設備投資案件は未だ伸び悩んでおり苦戦しました。

その結果、当該事業としては1.6%の増収となりました。

③ビル設備事業

設備分野では、無停電電源装置や受変電設備が通信・情報業界等の新設案件が増加し、好調に推移しました。

空調冷熱分野では、空調機器が省エネ・節電を目的としたリプレース需要は継続しましたが、大型冷凍機案件が減少しました。

その結果、当該事業として売上高は14.5%の増収となりましたが、経常利益は空調冷熱分野の減収が影響し減益（△25百万円）となりました。

④インフラ事業

交通分野では、受変電設備が前年度の大型案件の影響により減少しましたが、列車無線や車両用電機品の需要が回復し堅調に推移しました。

また、太陽光発電システムがエネルギー関連ビジネスとして旺盛な設備投資を背景に好調に推移しました。

その結果、当該事業として売上高は25.2%の増収となりましたが、経常利益は交通分野の利益減少が影響し減益（△15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、68,169百万円（前連結会計年度末比3,304百万円減）となりました。

流動資産は、56,875百万円（前連結会計年度末比3,779百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、受取手形及び売掛金が3,745百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、11,294百万円（前連結会計年度末比474百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、無形固定資産が81百万円減少、繰延税金資産が145百万円減少する一方で、投資有価証券が737百万円増加したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、29,018百万円（前連結会計年度末比4,418百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、支払手形及び買掛金が3,673百万円減少、賞与引当金が295百万円減少、未払法人税等が357百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、2,237百万円（前連結会計年度末比98百万円増）となりました。

純資産は、36,913百万円（前連結会計年度末比1,015百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、四半期純利益を729百万円計上、その他有価証券評価差額金が458百万円増加した一方、配当金の支払による293百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は54.1%、1株当たり純資産額は1,069円62銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ128百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には22,166百万円（前連結会計年度末比0.6%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、源泉としております税金等調整前四半期純利益が1,268百万円（前年同期は895百万円）を確保出来たことに加え、売上債権の減少3,902百万円があった一方、仕入債務の減少が3,824百万円、法人税等の支払額が747百万円あったこと等により、232百万円の収入（前年同期は2,078百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出53百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円、投資有価証券の取得による支出21百万円があったこと等により、130百万円の支出（前年同期は367百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払292百万円があったこと等により、309百万円の支出（前年同期は305百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では平成25年5月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,719	4,030
受取手形及び売掛金	32,288	28,542
有価証券	17,795	18,396
商品及び製品	3,219	3,852
原材料及び貯蔵品	2	0
繰延税金資産	719	552
その他	1,936	1,524
貸倒引当金	△27	△24
流動資産合計	60,654	56,875
固定資産		
有形固定資産	4,153	4,118
無形固定資産	373	291
投資その他の資産		
その他	6,357	6,949
貸倒引当金	△64	△66
投資その他の資産合計	6,292	6,883
固定資産合計	10,819	11,294
資産合計	71,473	68,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,001	25,327
未払法人税等	746	389
賞与引当金	1,176	880
役員賞与引当金	115	45
その他	2,397	2,375
流動負債合計	33,436	29,018
固定負債		
退職給付引当金	946	996
その他	1,193	1,241
固定負債合計	2,139	2,237
負債合計	35,576	31,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,362	5,362
利益剰余金	23,457	23,894
自己株式	△232	△236
株主資本合計	34,163	34,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462	921
土地再評価差額金	1,412	1,412
為替換算調整勘定	△182	△61
その他の包括利益累計額合計	1,692	2,272
少数株主持分	41	44
純資産合計	35,897	36,913
負債純資産合計	71,473	68,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	47,065	51,961
売上原価	40,730	45,306
売上総利益	6,335	6,654
販売費及び一般管理費	5,384	5,437
営業利益	950	1,216
営業外収益		
受取利息	20	16
受取配当金	44	56
仕入割引	12	11
為替差益	—	3
その他	52	30
営業外収益合計	129	119
営業外費用		
支払利息	3	4
売上割引	32	30
手形売却損	6	6
債権売却損	13	12
為替差損	18	—
その他	23	12
営業外費用合計	98	65
経常利益	980	1,270
特別損失		
固定資産除却損	1	1
減損損失	26	—
投資有価証券評価損	57	—
その他	0	—
特別損失合計	85	1
税金等調整前四半期純利益	895	1,268
法人税、住民税及び事業税	261	391
法人税等調整額	111	143
法人税等合計	373	535
少数株主損益調整前四半期純利益	522	733
少数株主利益	0	3
四半期純利益	521	729

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	522	733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	458
為替換算調整勘定	15	120
その他の包括利益合計	△228	579
四半期包括利益	293	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292	1,309
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	895	1,268
減価償却費	187	172
受取利息及び受取配当金	△64	△73
支払利息	3	4
売上債権の増減額(△は増加)	8,755	3,902
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75	△597
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,478	△3,824
その他	269	59
小計	△1,508	910
利息及び配当金の受取額	65	73
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額	△631	△747
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,078	232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30	△50
定期預金の払戻による収入	70	10
有形固定資産の取得による支出	△73	△53
無形固定資産の取得による支出	△15	△17
投資有価証券の取得による支出	△80	△21
投資有価証券の償還による収入	500	—
その他	△3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	367	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△291	△292
その他	△14	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305	△309
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,006	△128
現金及び現金同等物の期首残高	20,777	22,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,771	22,166

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	情通・ デバイス事業	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,145	17,633	6,540	10,746	47,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	53	73	38	0	165
計	12,198	17,706	6,579	10,746	47,231
セグメント利益	233	484	202	35	955

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	955
全社費用(注)	25
四半期連結損益計算書の経常利益	980

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	情通・ デバイス事業	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	13,110	17,912	7,487	13,450	51,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	99	43	6	198
計	13,159	18,012	7,530	13,457	52,159
セグメント利益	430	585	177	20	1,213

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,213
全社費用（注）	56
四半期連結損益計算書の経常利益	1,270

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。